

【概要】

- 原子炉格納容器水位、温度等のパラメータを監視していたところ、昨日（2月18日）、1号機の原子炉格納容器水位に低下が確認されたことから、他のパラメータを確認したところ、1号機において2月15日以降、3号機において2月17日以降、原子炉格納容器温度計の一部に低下傾向が見られました。
- このため、2月18日から、関連パラメータを評価していたところ、本日（2月19日）、1号機および3号機において原子炉格納容器水位が低下傾向にあると判断しました。
- なお、原子炉圧力容器底部温度、格納容器ガス管理システムの放射能（希ガスモニタ含む）、敷地境界のモニタリングポストおよびダストモニタ、構内ダストモニタに有意な変動は確認されていないことから、外部への影響はないものと判断しております。
- 2月13日の地震後の点検において、原子炉注水設備のパラメータおよび目視点検においては異常は確認されておらず、原子炉への注水は適切に行われていることを確認しており、また、原子炉格納容器水位低下の要因として、地震による原子炉格納容器損傷部の状況変化も考えられることから、引き続き、パラメータを注視して監視してまいります。
- なお、原子炉建屋水位については現状で有意な変動は確認されておりませんが、パラメータの詳細評価および監視を行ってまいります。

時系列

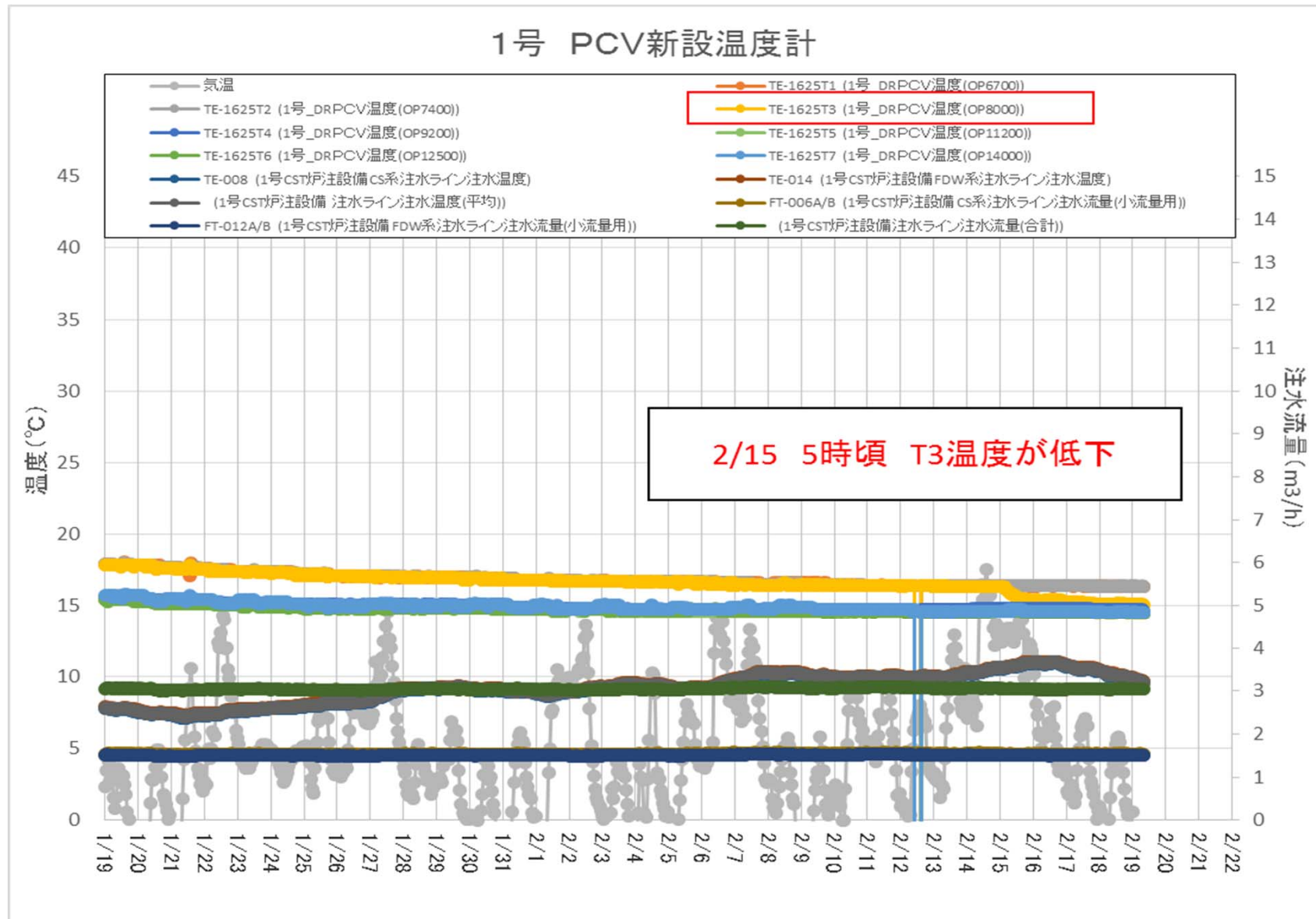
2月18日 午後11時頃

- 運転日誌の定時データ採取において、1号機原子炉格納容器水位が「L 3」から「L 2」に低下したことを当直員が確認。
- 1号機原子炉格納容器水位の変動に関連するパラメータを確認。

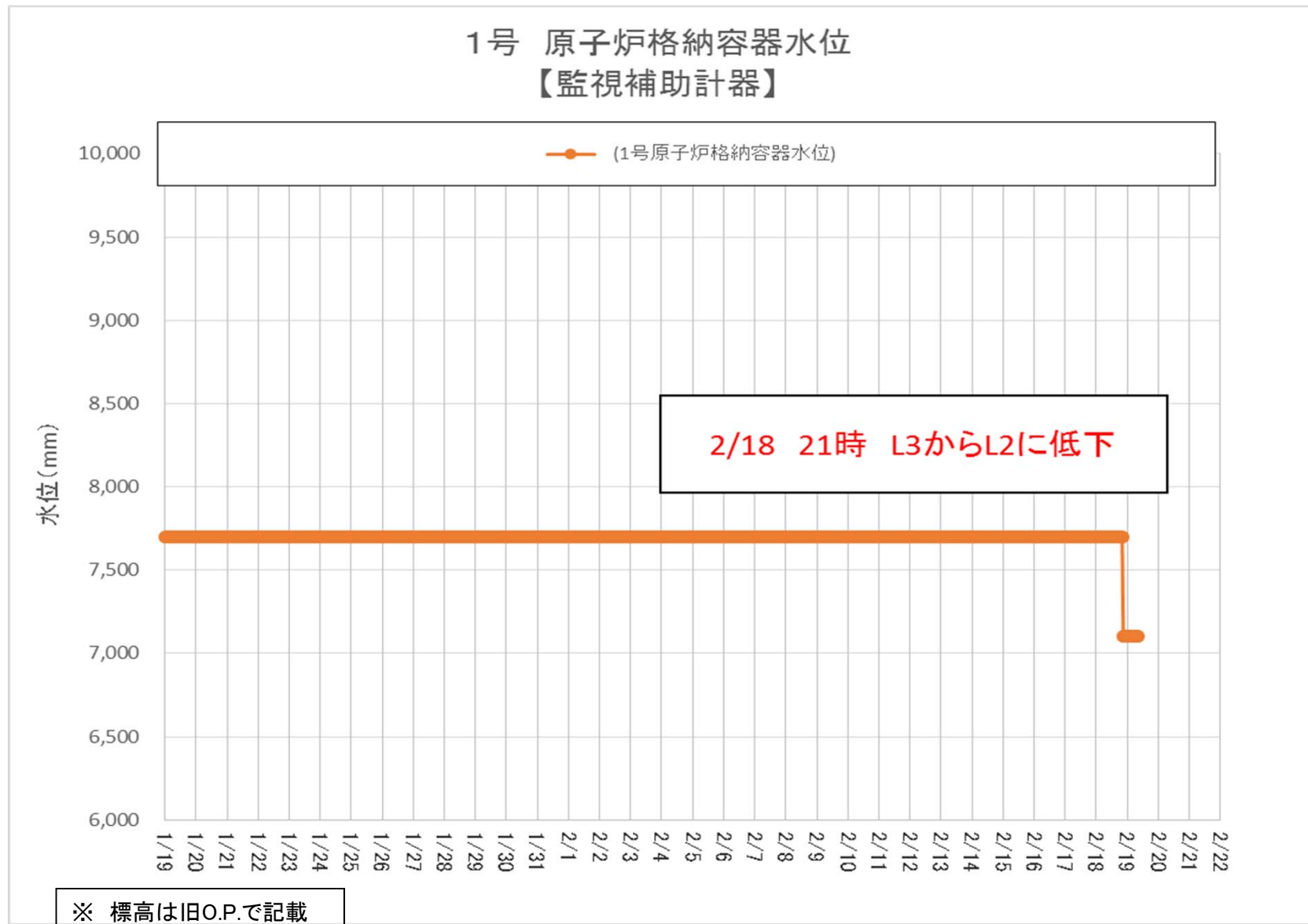
2月19日

- 1号機原子炉格納容器水位が「L 3」から「L 2」に低下したことについて、所内に共有。
- 所内の関係各所と1号機原子炉格納容器の水位低下の可能性について、協議ならびに評価を実施。
- その中で、以下を確認した。
 - ✓ 1号機において、原子炉格納容器温度の一部が2月15日以降、低下傾向にあることを確認
 - ✓ 3号機において、原子炉格納容器温度の一部が2月17日以降、低下傾向にあること、および原子炉格納容器水位が低下傾向にあることを確認
- 上記を総合的に評価し、午後5時頃、1号機および3号機の原子炉格納容器水位が低下傾向にあるものと判断。

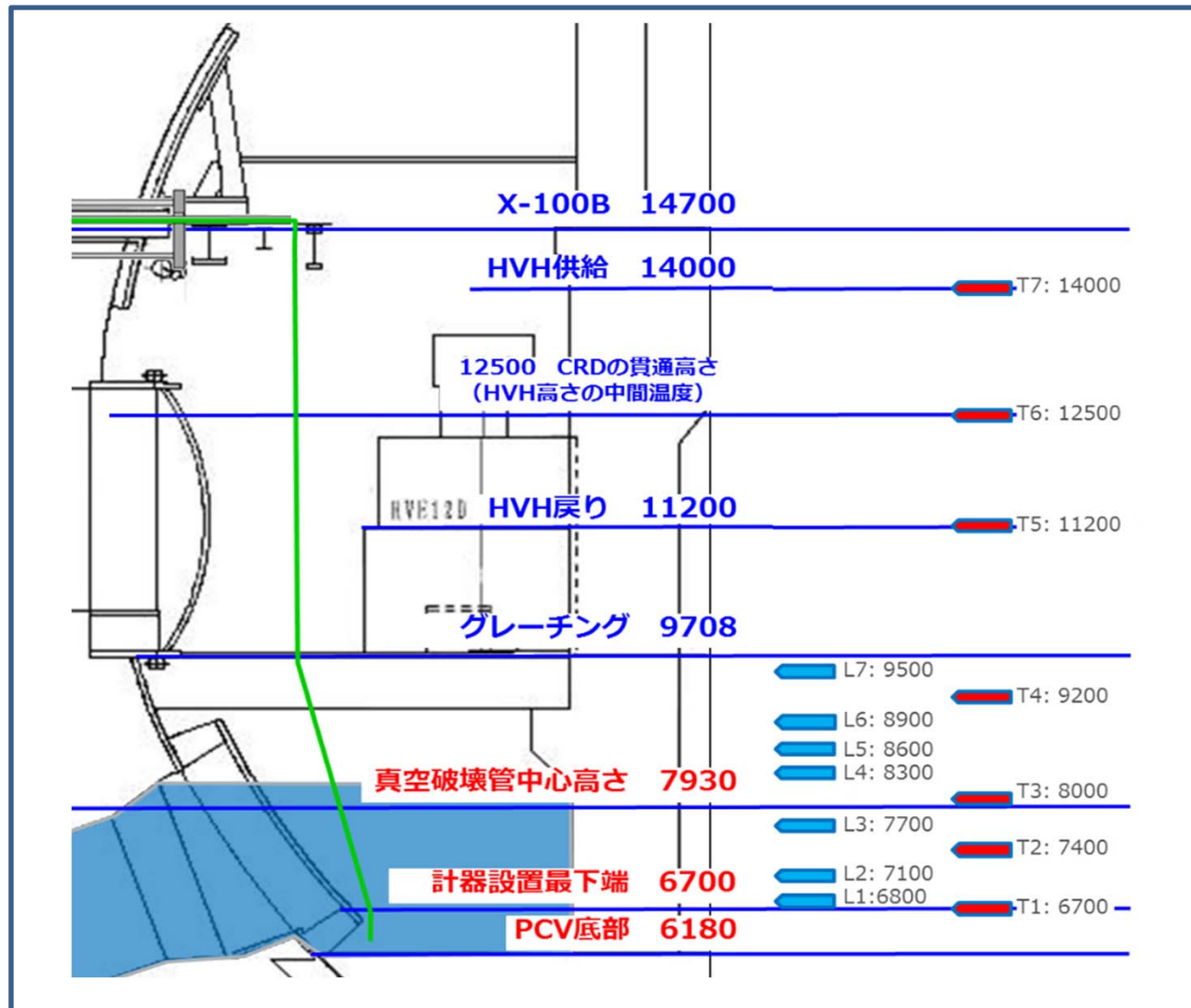
1号機 原子炉格納容器温度等



1号機 原子炉格納容器水位

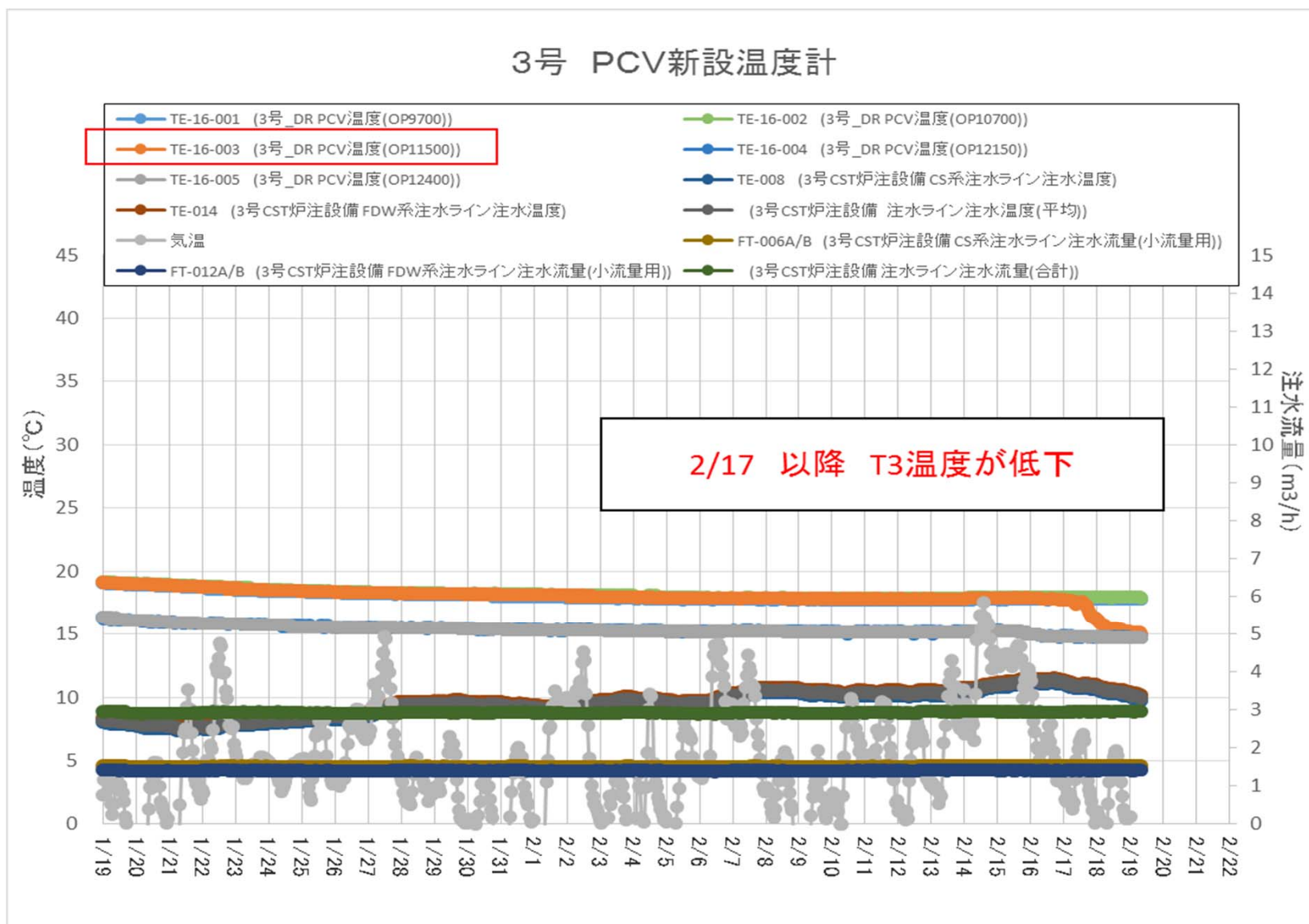


1号機 原子炉格納容器温度計・水位計の設置高さ

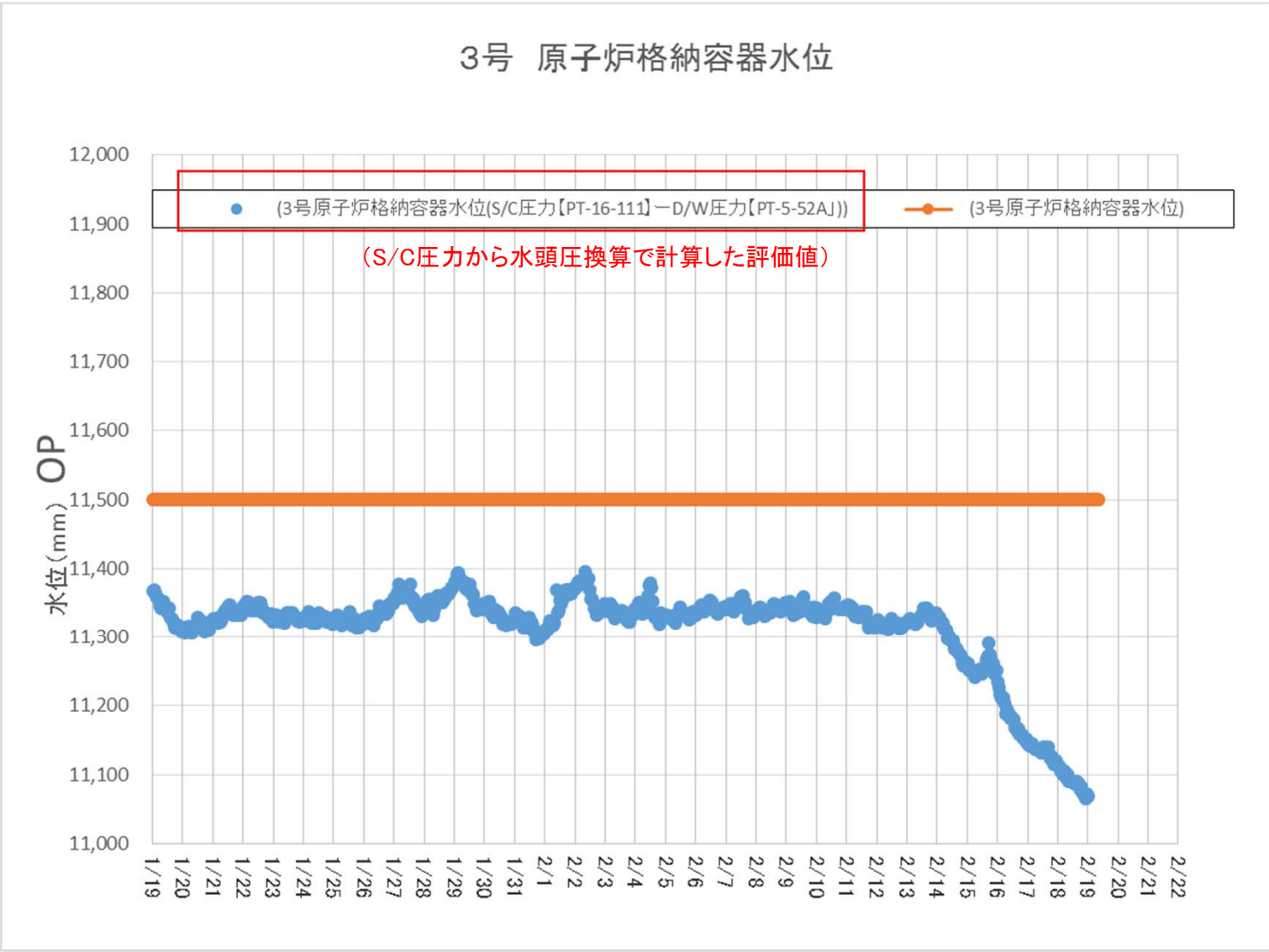


※ 標高は旧O.P.で記載

3号機 原子炉格納容器温度等

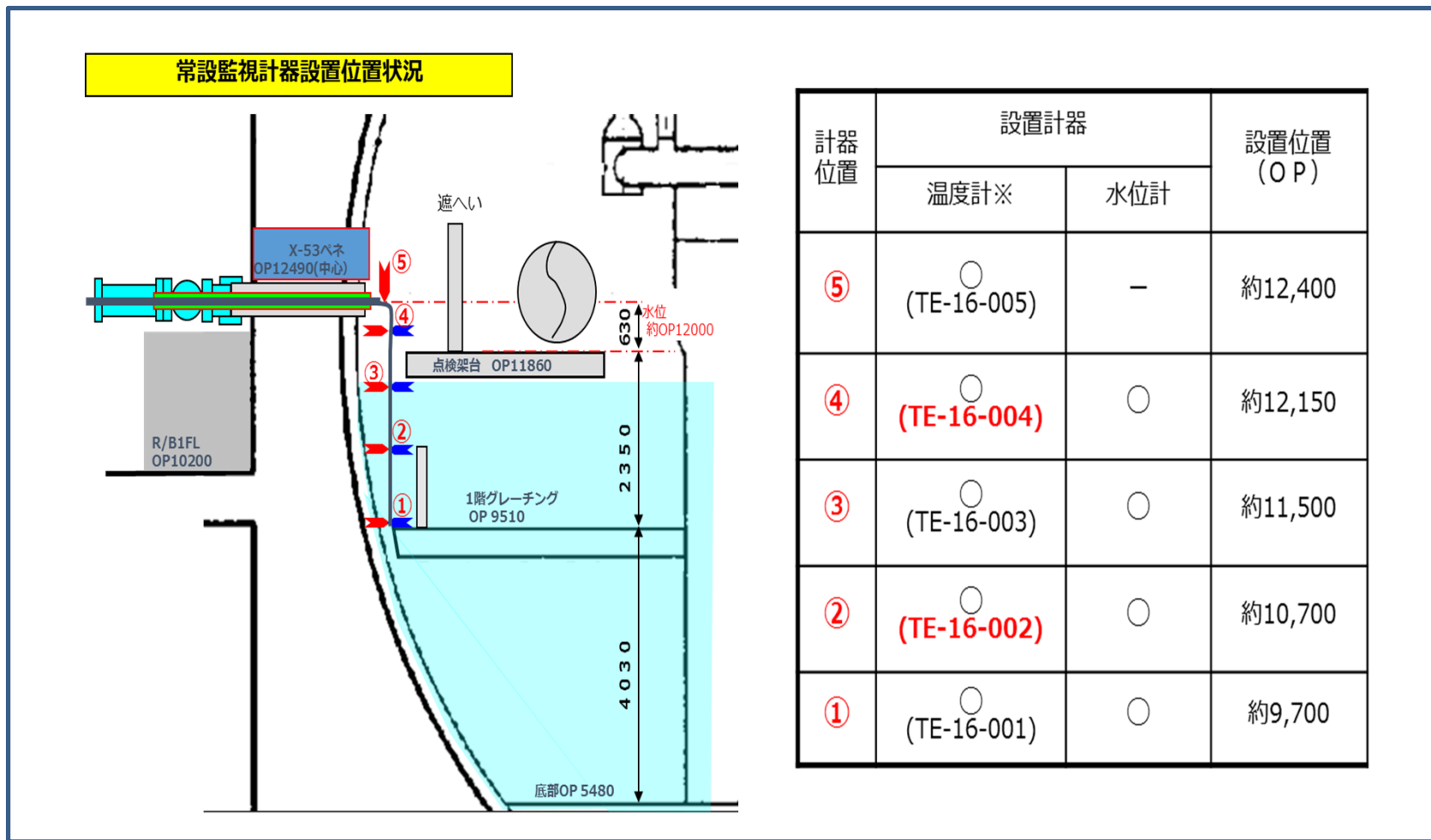


3号機 原子炉格納容器水位



※ 標高は旧O.P.で記載

3号機 原子炉格納容器温度計・水位計の設置高さ



※ 標高は旧O.P.で記載